事例No.	186
公表年度	H29
団体の属性	一般市
団体名	鹿児島県枕崎市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設等総合管理計画 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

終末処理場等の民間委託（ポンプ場・マンホールポンプ、維持管理業務、公募型指名競争入札）

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

2. 民間活力の活用 （包括的民間委託等）

事例9

○ 事例名等

事例名	終末処理場等の民間委託
団体名	鹿児島県 枕崎市
事業名	公共下水道事業

○ 人口・面積・密度

規模データ	人口 人	面積 ha	密度 人/ha
行政区域内	22,840	7,478	3.1
処理区域内	13,374	419	31.9

1. 背景

○取組みの背景（きっかけ）

公共下水道の整備によって，本市廃棄物処理業者の業務量が低減することから，その対応策として，昭和59年3月末の供用開始以来，維持管理業務を委託してきた。

平成22年度現在の受託者の業務は，市職員の指導・監督のもと，その判断・指示に従って補助者的業務を行うものであり，下水道法による資格者の配置がないことや，汚水処理の技術力不足等から，市職員への負担が大きいものになっている現状であった。

○導入の目的

(1) 下水道施設は，生活環境の改善，公衆衛生の向上，公共用水域の水質改善等に大きく寄与しているために，ライフラインとして将来にわたって「安全確保」「機能向上」「環境」への役割及び効率化等による「経営健全化」に取り組んで行く必要がある。

(2) 維持管理の質を確保しつつ，適正かつ効率的な運転をするためには，定期異動等による技術力のある職員の配置及び確保には困難な面が予想され，維持管理全般に問題が生じる。

(3) 今後は人口の減少，収益の減少及び維持管理，改築更新等による費用の増大により，下水道を取り巻く環境は一層の厳しさを増していく。

処理場の「管理の効率化・コスト縮減」の実現に向け，専門民間業者への委託を活用推進していくことが，災害等緊急時の対応等を含め本市にとって有効な方策であることから，終末処理場等の維持管理業務を民間業者へ委託することとした。

2. 内容、効果額等

①施設の全体概要

i 管路　汚水　104 km

ii ポンプ場　1 箇所

iii マンホールポンプ　8 基

②事業契約内容等

i 民間委託を導入した施設と内容

・ 枕崎終末処理場及び松之尾汚水中継ポンプ場，汚水マンホールポンプ場運転維持管理業務

ii 事業の概要

◎ 仕様発注（レベル1）

・委託期間　平成23年5月1日～平成26年4月30日（単年度契約：最長3年間）

・委託費　144,727千円

（H23） 44,121千円　（H24） 48,132千円　（H25） 48,132千円　（H26） 4,342千円

・委託先　N株式会社

・委託にあたって留意した点等

(1) 入札方法について

地方自治法施行令第167条の11第2項の規程に基づき，同条第3項の規定により公告することにより，公募型指名競争入札とした。

(2) 前受託者への対応（対策）

前受託者は，約27年間処理場の維持管理業務に取り組んでいたところであるが，専門民間業者（現委託者）へ委託することになった場合，業務量が減少するため，以下の対応を行った。

① 雇用対策として，技術力のある従業員は地元雇用として優先する。
② 雇用人数は原則として業務配置人数の約半数とする。
③ 受託者は処理場等の緑地管理業務（除草）は前業者に委託する。
④ 上記は指名の資格要件とする。

2．内容、効果額等（つづき）

◎　薬品等の直接経費を含んだ性能発注（レベル2）

・委託期間　　平成26年5月1日～現在（単年度契約：最長3年間）
　平成26年5月1日～現在（単年度契約：最長3年間）

・委託費　　145,500千円
　　（H26）68,060千円　（H27予算）77,440千円

・委託先　　N株式会社

・委託にあたって留意した点等
　入札方法については，平成23年度と同様に公募型指名競争入札とした。

③効果額

・　処理場の専門民間委託（平成23年5月実施）の効果について

（単位：千円）

	22年度	23年度			比較額	24年度
	4月～3月（直営）	4月（直営）	5～3月（業者）	計	（効果額）	（参考）
運転管理費	49,304	4,452	44,121	48,573	△ 731	48,132
市人件費	15,490	7,888		7,888	△ 7,602	7,882
合　計	64,794	12,340	44,121	56,461	△ 8,333	56,014

平成22年度の処理施設に係る人件費及び委託料の合計額は，64,794千円である。
平成23年度の専門民間委託入札の結果，合計額が56,461千円となり，8,333千円の改善ができた。これは，委託料が731千円，人件費については市職員1名の減により7,602千円減額できたためである。
さらに24年度は，合計額56,014千円となり23年度より447千円の減額となった。

3．検討過程等

①スケジュール

◎　仕様発注（レベル1）

・H22.5.25 下水道計画検討委員会 ・・・ 23年度実施の方向性を承認
・H23.2.2　行政改革推進係と組織機構検討委員会の提出議題内容について協議
・H23.2.18 組織機構検討委員会 ・・・ 業務委託に伴い23年度から建設係，処理係の統合決定
・H23.2.22～H23.4.1　行政係・建設課・財政課と公募型指名競争入札等について協議
・H23.4.1　入札参加資格要件等選定委員会 ・・・ 公告による公簿内容の審査
・H23.4.1　公告開始　→　H23.4.11広告締切
・H23.4.12 公簿型指名競争入札参加資格審査申請書提出期限（午前中）
・H23.4.12 ～ H23.4.13　入札参加資格審査申請書審査（2社）
・H23.4.13 入札参加資格要件等選定委員会 ・・・ 期間中に申請のあった2社を選定
・H23.4.13 指名競争入札参加指名通知発送
・H23.4.20 入札執行 ・・・N株式会社落札
・H23.4.25 委託契約
・H23.5.1　業務委託開始

◎　薬品等の直接経費を含んだ性能発注（レベル2）

・H25.11.19 下水道計画検討委員会 ・・・ 26年度実施の方向性を承認
・H26年3月 行政改革推進係，建設課，財政課と公募型指名競争入札について事前協議
・H26.4.1　入札参加資格要件等選定委員会 ・・・ 公告による公簿内容の審査
・H26.4.1　公告開始　→　H26.4.11広告締切
・H26.4.11 公簿型指名競争入札参加資格審査申請書提出期限
・H26.4.12 ～ H26.4.13　入札参加資格審査申請書審査（3社）
・H26.4.14 入札参加資格要件等選定委員会 ・・・ 期間中に申請のあった3社を選定
・H26.4.14 指名競争入札参加指名通知発送
・H26.4.21 入札執行 ・・・N株式会社落札
・H26.4.25 委託契約
・H26.5.1　業務委託開始

4．今後の課題・考慮すべき点

平成23年5月から処理場の管理の効率化・コスト縮減を図るため，処理場の運転管理等の維持管理業務を専門管理業者へ仕様発注（レベル1）を行い，現在は平成26年5月より薬品等の直接経費を含んだ性能発注（レベル2）による委託へ移行している。
最終的には性能発注に補修費等を含んだ包括的な委託へ移行することが今後の課題となっている。